

## 第187回教育研究評議会<議事要録>

日時	令和3年1月18日(月) 14:00 ~ 15:35
場所	<TV会議により実施> 本部棟3階 特別会議室, 本部棟5階 大会議室, 医学部 第1会議室
出席者	服部学長, 藤田理事, 秋重理事, 荒瀬理事, 井川理事, 長澤理事, 肥後副学長, 出口副学長, 武田副学長, 金山副学長, 丸橋法文学部長, 加藤教育学部長, 村瀬人間科学部長, 鬼形医学部長, 廣光総合理工学部長, 井藤生物資源科学部長, 河添評議員, 山崎評議員, 石原評議員, 小俣評議員, 川向評議員, 河野評議員, 廣瀬評議員, 境評議員, 村川評議員, 杉江評議員, 松崎評議員
オブザーバー	千家監事
欠席者	田中評議員 〔陪席: 附属義務教育学校長, 企画部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務部長, 法文学部事務長, 教育学部・人間科学部事務長, 医学部事務部長, 自然科学系事務部長, 企画広報課長, 総務課長, 教育企画課長, 教育企画課課長補佐, 大学教育センター原田講師〕

### 議題1 第3期中期目標・中期計画の変更について

- 荒瀬理事から第3期中期目標・中期計画の変更について説明があった。
- 村瀬人間科学部長から収容定員数の記載方法について確認があった。
- 以上を踏まえて, 原案どおり議決された。

### 議題2 令和3年度学年暦(松江キャンパス)について

- 荒瀬理事から令和3年度学年暦(松江キャンパス)について説明があった。
- 井藤生物資源科学部長からオリエンテーション期間(～4月12日)と前期授業開始日(4月14日)の間で空白となっている4月13日の取り扱いについて質問があり, 教育・学生支援部長から授業や教室配当のための準備期間として設けているとの回答があった。
- 以上を踏まえて, 4月13日の取り扱いを決定したうえで追加記載することとし, その他の箇所については原案どおり議決された。

### 協議事項1 島根大学ビジョン、目標及び戦略(案)について

- 学長から島根大学ビジョン、目標及び戦略(案)について説明があった。
- 小俣評議員から教育ビジョンでは戦略の各項目で新たな教育を推進する旨の記載があるが, これらの新たな教育をどのような体制で実施していくのか質問があり, 学長から学内の具体的な実施体制については今後検討するとの回答があった。
- 小俣評議員から教育ビジョン目標3戦略2にあるインターンシップの質的向上とは具体的にはどのようなことか質問があり, 学長から大学側と企業側の両面からの取組を通じて, 学生が多くのことを学べるインターンシップを構築することを目指し, 質的向上と記載しているとの回答があった。
- 松崎評議員から新たな教育を推進していくにあたり, 携わる教員に対するより充実したサポート体制が必要ではないかとの意見があった。
- 川向評議員から教育ビジョン目標2戦略4にあるへるん入試の拡充を図ることについて, へるん入試初年度である今年度の総括を踏まえたものか質問があり, 学長から今年度実績については大学教育センターが総括を行っている最中であるが, へるん入試および特別入試の入学定員を定員比率40%まで拡充することは当初の計画から定めている

ため、いずれにしてもこの数値を目指して実施していく方針であるとの回答があった。

- 出口副学長から戦略の項目において具体的な数値があるものとないものが混在している点について質問があり、学長から具体的な数値は目標もしくは戦略の項目に記載しているが、どちらかに統一して記載するかについては今後検討するとの回答があった。
- 松崎評議員から年度実行計画については当該年度の実施状況などを踏まえて適宜見直しながら策定して欲しいとの意見があった。
- 肥後副学長から中期計画・中期目標との整合性をどこまで図るか質問があり、学長から今後検討するとの回答があった。
- 改めて、意見を1月27日(水)の正午までに企画広報課へ知らせるよう周知された。

## 協議事項2 教育力の自己評価シートについて

- 荒瀬理事から教育力の自己評価シートについて説明があった。
- 学長からこの自己評価シートが実際に運用されるのはいつからか質問があり、荒瀬理事からこの協議で問題がないと判断されれば順次運用を開始していきたいとの回答があった。
- 肥後副学長から自己評価シートによる評価結果は教員業績評価に反映されるのか質問があり、荒瀬理事から教員業績評価に反映するためのものではなく、あくまでも教員個々が自身の教育力を分析するために活用するものであるとの回答があった。
- 松崎評議員から自己評価シートだけでは自らの教育力の改善点の詳細な分析は難しいのではないかと質問があり、荒瀬理事から教員の教育力の向上を図るためには今後も様々な方法を導入する必要がある、その先駆けとしてまずはこの自己評価シートを起点に教育力の向上について全学的な意識の醸成を図りたいと考えているとの回答があった。
- 松崎評議員から自己評価シートの実効性を高めるために、根拠データとする授業評価アンケートについては当該年度だけではなく例えば複数年度分の平均値を利用してはどうかとの意見があった。
- 以上を踏まえて、原案どおりの形式で運用を開始することとなった。

## 協議事項3 令和3年度前期授業の実施方法について

- 荒瀬理事から令和3年度前期授業の実施方法について説明があった。
- 出口副学長から新型コロナウイルス感染症の影響により私費外国人の入国が規制された場合、これにより来日できない留学生への対応についても記載して欲しいとの意見があった。
- 井藤生物資源科学部長から資料の表に関して、例えば授業期間中に「新型コロナウイルス感染症に係る島根大学行動指針」の段階が上がって対面授業の科目がオンライン授業となった後に段階が下がった場合に対面授業を実施できるような変更が可能か質問があり、教育・学生支援部長から教育・学生支援担当副学長、学部長及び研究科長が認めた場合には再度の授業形態の変更を認めることとしているとの回答があった。

## 報告事項1 安全保障輸出管理規則の一部改正について

- 秋重理事から安全保障輸出管理規則の一部改正について報告があった。
- 学長から本件は全ての教員に関係する可能性がある重要な事項であるとの指摘があり、秋重理事から各学部の教授会で口頭で説明し周知徹底するとの回答があった。

## 報告事項2 情報の公表規程の制定について

- 藤田理事から情報の公表規程の制定について報告があった。

## 報告事項3 令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- 荒瀬理事から令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

**報告事項 4 教員業績評価に係る全学共通項目の指標について**

- 秋重理事から教員業績評価に係る全学共通項目の指標について報告があった。

**報告事項 5 令和3年度予算（案）の概要について**

- 長澤理事から令和3年度予算（案）の概要について報告があった。

**報告事項 6 帝京大学との連携協力に関する協定の締結について**

- 秋重理事から帝京大学との連携協力に関する協定の締結について報告があった。

**報告事項 7 大正大学との包括的連携に関する協定の更新について**

- 秋重理事から大正大学との包括的連携に関する協定の更新について報告があった。

**報告事項 8 コンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R2.10.1～R2.12.31）の実施状況について**

- 藤田理事からコンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R2.10.1～R2.12.31）の実施状況について報告があった。

**報告事項 9 令和3年度教育研究評議会の開催日について**

**報告事項 10 教員の採用等について**

- 報告事項9，10は書面により報告された。